

株主の皆様へ

サカタのタネ

PASS N in Seed

# 第74期 中間報告書

平成26年6月1日から平成26年11月30日まで

株式会社 **サカタのタネ**  
SAKATA SEED CORPORATION



代表取締役社長

坂田 宏

株主の皆様には、平素よりご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに当社第74期第2四半期決算の状況をご報告申し上げます。

当第2四半期連結累計期間（平成26年6月1日から平成26年11月30日まで）における世界経済は、米国では緩やかな回復基調を維持する一方、欧州経済においては低成長が続く、景気回復は足踏み状態にあります。新興国経済は、中国では景気減速傾向にあります、インド経済は景気持ち直しの動きが出てきております。わが国経済は、消費税増税後の景気回復にもたつきが見られるものの、設備投資や雇用状況は堅調に推移しております。当種苗業界は、依然として国内需要は頭打ちの状況が続いておりますが、海外におきましては、新興国を中心に、野菜種子、花種子の

需要は拡大を続けております。

このような状況のなか、当社グループにおいては、国内卸売事業は野菜種子、花種子が伸び悩む一方、資材、苗木が順調に推移しました。海外卸売事業につきましては、ニンジン、ブロッコリーなど野菜種子の売上が好調で前年同期比大幅増収となりました。一方、小売事業は今夏の猛暑や天候不順の影響に加え、不採算事業の見直しなどを行っていることもあり前年同期比減収となりました。

当社グループの当第2四半期連結累計期間における業績は、売上高は263億5百万円（前年同期比20億27百万円、8.4%増）となりました。営業利益は、野菜種子の売上増加による売上総利益の改善が貢献し、32億31百万円（前年同期比10億52百万円、48.3%増）となりました。また経常利益は、為替差益が4億4百万円（前年同期は為替差損が1億28百万円）発生したため、39億64百万円（前年同期比16億25百万円、69.5%増）となりました。また四半期純利益につきましても、固定資産売却益が2億65百万円発生したことなどから、29億76百万円（前年同期比14億68百万円、97.4%増）と前年同期比増益となりました。

国内卸売事業は、野菜種子、花種子が低調に推移したものの、苗木、資材などが売上を伸ばし、前年同期比増収となりました。野菜種子は新品種投入効果などによりキャベツ、ブロッコリー、ダイコンが好調に推移しましたが、前期の消費税増税や価格改定に伴う駆け込み需要の影響などにより全体では一時的に伸び悩み、前年同期比微減となりました。花種子につきましても新品種投入効果などによりプリムラ、ヒマワリが、また緑化事業のコスモスなどが好調に推移しましたが、前期の消費税増税に伴う駆け込み需要の影響などもあり、全体では前年同期比減収となりました。一方、資材は昨年2月の雪害による農業用ハウスの復興需要や、園芸農薬などの売上が大きく伸び、前年同期比増収となりました。苗木につきましても、トマトセル苗やフォーチュンペゴニア苗を中心に順調に売上を伸ばし、前年同期比増収となりました。

また、海外卸売事業のそれぞれの地域別の状況は、アジア向け輸出においては、ニンジン、ホウレンソウ、トルコギキョウなどが大きく伸びたことから前年同期比大幅な増

収となりました。北米においても、野菜種子が順調に売上を伸ばし、前年同期比増収となりました。欧州は野菜種子、花種子ともに伸び悩み、現地通貨ベースでは前年同期比減収となりましたが、円安の影響で円ベースでは前年同期比増収となりました。南米では、レタス、ペッパーなどの野菜種子が売上を伸ばし、前年同期比増収となりました。品目別では、野菜種子はブロッコリー、ニンジン、カリフラワーなどが売上を伸ばし、前年同期比増収となりました。花種子につきましては、アジア向けのトルコギキョウや、北米のヒマワリの売上が伸びたことなどから、前年同期比増収となりました。

小売事業につきましては、ホームガーデン分野は、野菜種子小袋などの種苗を中心とするオリジナル商品が大きく販売増となりましたが、不採算商品の取引削減により売上高は前年同期比減収となりました。利益面では、業務コストの圧縮などが功を奏し、前年同期から改善いたしました。

通信販売分野では、消費税増税による需要の前倒しと以降の消費動向の鈍化の影響を受け、一般花苗、花木苗、園芸資材などが伸び悩み、更に秋の園芸シーズン期でも受注が落ち込んだため、前年同期比減収となりました。

ガーデンセンターでは、6月の天候不順により春シーズン終盤の営業は苦戦を強いられましたが、7月以降の業況は、

毎週のイベント開催によるご来店者数の回復やネット販売の好調な推移により、前年同期比横ばいとなりました。

その他事業では、造園緑花分野で大型の民間工事が完工となり、前年同期比増収となりました。営業利益では工事コストなどの上昇により、前年同期比減益となりました。

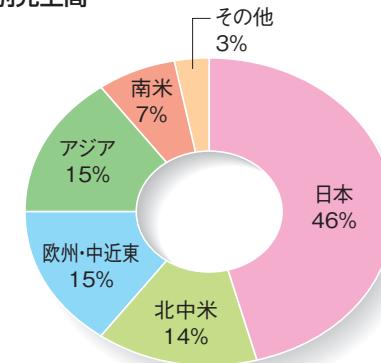
通期の業績予想につきましては、売上高は当初予想に比べて30億円増の575億円、営業利益は同比6億円増の46億円、経常利益は同比10億円増の54億円、当期純利益は同比8億円増の38億円を見込んでおります。

当中間期の配当金は、当初の予定通り、1株につき10円とさせていただきます。

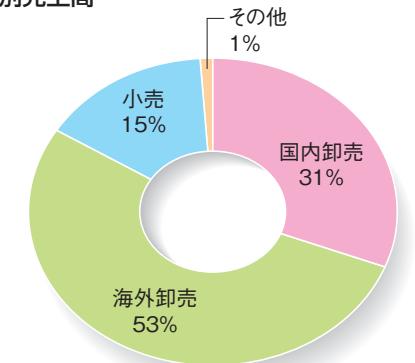
めまぐるしい国際情勢の変化、たび重なる天候不順など、農業や当社を取り巻く環境は厳しさを増しております。当社は革新的な花と野菜の種苗とサービスから創り出される全ての価値を通じて、明るい未来の創造に貢献してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後ともご理解とご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

地域別売上高



事業別売上高



## 四半期連結財務諸表

### 四半期連結貸借対照表(要旨) (単位: 百万円)

	前第2四半期連結 会計期間末 平成25年11月30日現在	当第2四半期連結 会計期間末 平成26年11月30日現在	前連結 会計年度末 平成26年5月31日現在
<b>【資産の部】</b>			
流動資産	55,882	61,899	57,146
固定資産	38,169	40,768	39,268
有形固定資産	26,851	27,845	27,528
無形固定資産	943	863	933
投資その他の資産	10,374	12,059	10,806
資産合計	94,051	102,667	96,414
<b>【負債の部】</b>			
流動負債	9,884	11,754	10,326
固定負債	4,486	5,940	4,687
負債合計	14,370	17,695	15,014
<b>【純資産の部】</b>			
株主資本	79,525	82,256	80,247
資本金	13,500	13,500	13,500
資本剰余金	10,823	10,823	10,823
利益剰余金	59,671	62,405	60,395
自己株式	△4,469	△4,471	△4,470
その他の包括利益累計額	21	2,584	1,021
その他有価証券評価差額金	2,480	3,406	2,441
為替換算調整勘定	△2,459	△771	△1,367
退職給付に係る調整累計額	—	△50	△52
少数株主持分	134	130	130
純資産合計	79,681	84,972	81,399
負債・純資産合計	94,051	102,667	96,414

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

### 四半期連結キャッシュ・フロー計算書(要旨) (単位: 百万円)

	前第2四半期 連結累計期間 平成25年6月1日から 平成25年11月30日まで	当第2四半期 連結累計期間 平成26年6月1日から 平成26年11月30日まで	前連結 会計年度 平成25年6月1日から 平成26年5月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,646	5,440	3,552
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,859	△1,207	△2,018
財務活動によるキャッシュ・フロー	443	△675	41
現金及び現金同等物に係る換算差額	170	124	353
現金及び現金同等物の増減額	3,400	3,681	1,929
現金及び現金同等物の期首残高	7,233	9,162	7,233
現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高	10,634	12,844	9,162

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

### 四半期連結損益計算書(要旨) (単位: 百万円)

	前第2四半期 連結累計期間 平成25年6月1日から 平成25年11月30日まで	当第2四半期 連結累計期間 平成26年6月1日から 平成26年11月30日まで	前連結 会計年度 平成25年6月1日から 平成26年5月31日まで
売上高	24,278	26,305	53,922
売上原価	11,160	11,643	26,661
売上総利益	13,117	14,662	27,260
販売費及び一般管理費	10,938	11,431	23,573
営業利益	2,179	3,231	3,687
営業外収益	339	796	621
営業外費用	179	63	399
経常利益	2,339	3,964	3,909
特別利益	74	336	232
特別損失	32	14	146
税金等調整前四半期(当期)純利益	2,381	4,287	3,996
法人税等	868	1,298	1,315
少数株主損益調整前 四半期(当期)純利益	1,512	2,988	2,680
少数株主利益	4	12	△0
四半期(当期)純利益	1,508	2,976	2,681

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

## 四半期単体財務諸表

### 四半期貸借対照表(要旨) (単位: 百万円)

	前第2四半期 会計期間末 平成25年11月30日現在	当第2四半期 会計期間末 平成26年11月30日現在	前事業年度末 平成26年5月31日現在
<b>【資産の部】</b>			
流動資産	34,279	35,506	33,945
固定資産	43,480	44,767	43,573
有形固定資産	19,551	19,385	19,472
無形固定資産	312	224	267
投資その他の資産	23,615	25,158	23,833
資産合計	77,760	80,274	77,518
<b>【負債の部】</b>			
流動負債	4,468	4,670	4,799
固定負債	2,936	3,922	2,806
負債合計	7,404	8,593	7,605
<b>【純資産の部】</b>			
株主資本	67,884	68,288	67,482
資本金	13,500	13,500	13,500
資本剰余金	10,823	10,823	10,823
利益剰余金	48,031	48,436	47,629
自己株式	△4,469	△4,471	△4,470
評価・換算差額等	2,470	3,392	2,431
その他有価証券評価差額金	2,470	3,392	2,431
純資産合計	70,355	71,681	69,913
負債・純資産合計	77,760	80,274	77,518

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

### 四半期損益計算書(要旨) (単位: 百万円)

	前第2四半期 累計期間 平成25年6月1日から 平成25年11月30日まで	当第2四半期 累計期間 平成26年6月1日から 平成26年11月30日まで	前事業年度 平成25年6月1日から 平成26年5月31日まで
売上高	15,148	16,153	33,296
売上原価	8,273	8,868	19,410
売上総利益	6,875	7,285	13,885
販売費及び一般管理費	6,125	6,028	13,099
営業利益	750	1,256	786
営業外収益	570	943	774
営業外費用	19	10	77
経常利益	1,301	2,190	1,482
特別利益	0	128	0
特別損失	28	13	220
税引前四半期(当期)純利益	1,273	2,306	1,263
法人税等	341	533	282
四半期(当期)純利益	931	1,773	980

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

## 会社の概要 (平成26年11月30日現在)

商号	株式会社 <b>サカタのタネ</b>
英文社名	<b>SAKATA SEED CORPORATION</b>
創業年月	大正2年(1913年) 7月
設立年月	昭和17年(1942年) 12月
資本金	135億円
本社	横浜市都筑区仲町台二丁目7番1号
従業員数	633名

## 株式の状況 (平成26年11月30日現在)

発行可能株式総数	104,000,000株
発行済株式の総数	48,410,750株
株主数	28,243名
大株主	

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
有限会社ティーム興産	7,607,996	15.71
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社	3,041,057	6.28
株式会社みずほ銀行	2,245,500	4.63
株式会社三井住友銀行	1,990,760	4.11
佐々木嘉樹	750,000	1.54
株式会社横浜銀行	744,047	1.53
資産管理サービス信託銀行株式会社	720,800	1.48
日本マスタートラスト信託銀行株式会社	709,000	1.46
キッコーマン株式会社	678,000	1.40
CBNY-GOVERNMENT OF NORWAY	648,499	1.33

## 役員 (平成26年11月30日現在)

代表取締役社長 社長執行役員	坂田 宏	常勤監査役	遠田 光雄
専務取締役 専務執行役員	荒川 弘	監査役	佐藤 順信
常務取締役 常務執行役員	内山 理勝	監査役	長谷川 上
常務取締役 常務執行役員	金子 英人	執行役員	黒木 達司
常務取締役 常務執行役員	加々美 勉	執行役員	黒岩 和郎
常務取締役 常務執行役員	太田 誠	執行役員	三浦 高明
取締役 執行役員	田崎 正光	執行役員	中井 智二
取締役 執行役員	本田 秀逸	執行役員	米本 丈夫
取締役 執行役員	宇治田 明史	執行役員	古木 利彦
取締役	菅原 邦彦	執行役員	齋藤 弘佳

## トピックス

### ● 本社緑地が「SEGES 2014 都市のオアシス」に認定

当社本社の緑地が平成26年9月に「SEGES 2014 都市のオアシス」の認定を受けました。

「都市のオアシス」認定事業は公益財団法人「都市緑化機構」が実施しているもので、猛暑やヒートアイランド現象などで悪化する都市において人々が安らげる緑地の重要性の啓発などを目的にしています。

当社敷地内には、メタセコイアなどの樹木の植栽のほか当社の開発した草花などの品種が多数植えられ、四季を通じて花が楽しめます。また本社ビルは雨水のみでの管理を可能にしたアクアソイル工法で屋上緑化も行われています。本社に併設されている大型温室「グリーンプラザ」では当社の品種を公開しているなど、敷地内の一部は公開空地として一般開放されており、近隣住民や園児の散歩コースとして地域に定着し、憩いの場所となっています。

こうした点が評価され、「都市のオアシス」に認定されたものです。神奈川県では当社が第一号の認定となります。



## 株主メモ

事業年度	6月1日～翌年5月31日
期末配当金受領株主確定日	5月31日
中間配当金受領株主確定日	11月30日
定時株主総会	毎年8月下旬
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 電話 0120-232-711 (通話料無料)
上場証券取引所	東京証券取引所 (証券コード 1377)
公告の方法	日本経済新聞

(ご注意)

株主様の住所変更、単元未満株式の買取請求その他各種お手続きにつきましては、口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。なお、未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行の本支店でお支払いいたします。

当社では、株主の皆様はもとより、顧客の皆様方の満足度向上を目指し、「お客様相談室」を設けております。

**お客様相談室** TEL : 045-949-8137 (受付時間: 平日 午前9時~午後5時)

